

# 1. 調査の概要

## (1) 調査の目的

本市において生活に困窮していると想定される子どもや家庭の様子について把握することを目的に、日ごろから困難を抱える子どもや家庭への支援に関わっている、区役所職員や施設等の職員、学校の教員やNPO法人等に対し、ヒアリング調査を実施した（以下、「支援者ヒアリング」と表記）。

また、本市において生活に困窮していると想定される子どもや家庭の様子を把握し、さらに、必要とする支援策等について直接的にご意見を伺うことを目的に、生活保護、児童扶養手当を受給している世帯等、本市の事業の利用者を対象としたアンケート調査を実施した（以下、「対象者アンケート」と表記）。

## (2) 調査実施方法等の概要

「支援者ヒアリング」「対象者アンケート」のそれぞれについて、以下のような方法にて実施した。

### ①支援者ヒアリング

以下の対象に対して、それぞれ横浜市職員、ならびに浜銀総合研究所研究員が複数名で訪問の上、2時間程度の時間でヒアリングを実施した。

	分類	ヒアリング対象	訪問・実施日
1	区役所	西区こども家庭支援課・生活支援課	6月23日
2		鶴見区生活支援課	6月22日
3	児童相談所	中央児童相談所	6月30日
4	児童家庭支援センター	横浜型児童家庭支援センター むつみの木	8月24日
5	乳児院	久良岐乳児院、横浜婦人クラブ愛児園（デュナミス）	6月29日
6		白百合ベビーホーム	7月7日
7	母子生活支援施設	横浜市母子生活支援施設 みどりハイム	6月24日
8	ひとり親支援	横浜市母子家庭等就業・自立支援センター 受託法人 一般財団法人 横浜市母子寡婦福祉会	6月30日
9	児童養護施設	旭児童ホーム	6月25日
10		三春学園	8月28日
11	保育所	市立保育所	6月19日
12	学校関係者	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー	6月22日
13		東部学校教育事務所	7月16日
14	高校	定時制高等学校	6月26日
15	寄り添い型学習等支援	瀬谷区支えあい家族支援事業 受託法人 特定非営利活動法人ワーカーズわくわく	6月18日
16	困難を抱える子ども・若者の自立支援	K2インターナショナルグループ	9月7日
17	外国籍の子どもに対する支援	なか国際交流ラウンジ	9月18日

## ②対象者アンケート

対象者アンケートは、生活保護を受給している世帯、児童扶養手当を受給している世帯、寄り添い型学習等支援事業を利用している世帯の保護者ならびに中学生・高校生、児童養護施設で生活する中学生・高校生を対象に、以下のような調査方法で実施した。回答は、同封の返信用封筒にて返送いただいた。

利用事業	調査票種類	対象者の属性	配布数	配付方法等	調査期間
生活保護	保護者	未就学～18歳未満の子どもがいる世帯	360	市から郵送にて送付	8月10日から 8月28日
	中学生・高校生	中学生・高校生	180	上記保護者向けの調査票の中に同封	
児童扶養手当	保護者	未就学～18歳未満の子どもがいる世帯	360	区のこども家庭支援課窓口にて配付	8月10日～8月18日の期間に各区の窓口で配布。8月28日まで
	中学生・高校生	中学生・高校生	360	上記保護者向けの調査票の中に同封	
寄り添い型学習等支援事業	保護者	利用者	545	利用施設を通じて配付	8月10日から 8月28日
	中学生・高校生	利用者（中学生）	462	上記保護者向けの調査票の中に同封	
児童養護施設	中学生・高校生	中学生・高校生	194	利用施設を通じて配付	8月10日から 8月28日

## ③対象者アンケートの回収状況

各アンケート調査の配布数ならびに有効回答数は次の通りである。なお、児童養護施設入所者向けの調査についても中学生・高校生を対象にしたものであるが、一部他の対象に対する調査票とは異なる設問で調査をしていることから、児童養護施設入所者向けの調査については、単独で集計した。

調査種類	配布数	有効回答数	有効回答率
保護者向け調査	1,265	212	16.8%
中学生・高校生向け調査	1,002	120	12.0%
児童養護施設入所者向け調査	194	138	71.1%

### (3) 集計・分析の方法等の概要

「支援者ヒアリング」「対象者アンケート」のそれぞれについて、以下のような方法にて集計・分析を行い、本報告書に取りまとめた。

#### ①支援者ヒアリング

ヒアリングにより把握された情報について、大きく、「保護者の特徴・課題等」「子どもの特徴・課題等」「制度・連携の仕方等に関する課題等」の3つの観点から整理した。

また、それぞれのヒアリング結果から把握されたキーワードや関係性について、関係図により全体像を整理したうえで、困窮状態にある子どもや家庭の生活の実態に関して、テーマ別の課題等を抽出・整理した。

#### ②対象者アンケート

「保護者向け調査」「中学生・高校生向け調査」「児童養護施設入所者向け調査」のそれぞれについて、上記「支援者ヒアリング」で把握された課題点等の内容に沿って、集計・分析を行った。

なお、一部の設問については、保護者の回答と中学生・高校生の回答結果を対応させて、家庭の状況別に、中学生・高校生の回答結果の違い等を把握する分析を試みた。保護者と中学生・高校生の回答について対応関係が確認できたのは全部で117件であった。